研究・調査報告書

分類番号		報告書番号	担当
A-169	A-181	20-066	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門　三浦克之

題名（原題／訳）

Nonalcoholic and Alcoholic Beverage Intakes by Adults across 5 Upper-Middle- and High-Income Countries

上位中及び高所得国 5 カ国の成人における非アルコール飲料とアルコール飲料の摂取量

執筆者

Vanderlee L, White CM, Kirkpatrick SI, Rynard VL, Jáuregui A, Adams J, Sacks G, Hammond D.

掲載誌

J Nutr. 2021 Jan 4;151(1):140-151. doi: 10.1093/jn/nxaa324.

キーワード	PMID
砂糖含有飲料、アルコール、ダイエット飲料摂取、ノンカロリー甘味料、国際比較	33245111

要　旨

背景・目的：砂糖含有飲料の摂取は公衆衛生上の関心が高いが、国際比較はほとんど行われていない。上位中・高所得国 5 カ国でよく飲まれる飲料の摂取頻度と量を検討する。

方法：International Food Policy Study にて無作為抽出された豪州（n=3,264）、カナダ（n=2,745），メキシコ（n=3,152）、英国（n=3,221）、米国（n=4,015）の 18～65 歳の成人を対象に 2017 年 12 月にオンラインで 7 日間の 22 種類の飲料摂取状況を調査した。回帰モデルを用いて国別及びサブグループでの砂糖含有飲料（SSB）、甘味のある飲料（Sugary drinks；SSB と 100%フルーツ又は野菜ジュース）、ダイエット飲料、アルコール飲料の摂取量の違いを調べた。

結果：SSB 摂取率は 47%（英国）から 81%（メキシコ）、Sugary drinks 摂取率は 62%（英国）から 87%（メキシコ）で、メキシコが高かった。ダイエット飲料摂取率は 26%（メキシコ）から 37%（英国）で英国が高く、英国と米国でダイエット飲料の摂取が多かった。国に関わらず若年層及び男性で SSB 及び Sugary drinks の摂取が多かった。アルコール飲料の摂取率は 45%（米国）から 52%（カナダ）であった。

結論：各国回答者の大半が SSB 及び Sugary drinks を摂取し、メキシコ及び米国の摂取が多かった。5 カ国での飲料摂取量に重要な差があったが、各国の摂取量の対象者背景はほぼ同様であった。今後、各国の飲料摂取量を縦断的に比較することは、国レベルの政策の影響を明らかにするために重要である。